



### 共に楽しむ

7 君も一緒に踊らない？よさこいに興味津々の子たちを誘ってみる 8 妖怪の着ぐるみに身を包んだ人と談笑。どんな話に花が咲いているのだろうか 9 「いかがですか」と来場者にお神酒をふるまう巫女服の男性



### 練り歩く

4 笑顔で山車を引っ張る子どもたち。背中の麦わら帽子はお揃いで 5 サザエさん一家が千頭駅前にも勢ぞろい。アニメと同様、陽気な家族だった 6 ゲゲゲの鬼太郎の「砂かけ婆」になりきって。向こうにはネズミ男の姿も

### 歌い踊る

1 さまざまな法被に身を包み、よさこいを踊る。どの顔にも楽しそうな笑顔がこぼれた 2 魔女っ子と大仏のダンス・コラボレーション。息もぴったり 3 夜のステージで体いっぱい使って踊る女の子のグループ。喝采を浴びた



は満点。見上げるほどの大きさに思わず息をのむ。住民のコスチュームだって負けてはいない。法被姿はもちろん、メイド服、魔女っ子、サザエさん、チョッパー（トナカイ）の着ぐるみに鬼太郎のちゃんちゃんこ……。見ている本当に楽しい。「観客に喜んでもらいたいし、自分たちも楽しみたい」という気持ちで伝わってくる。沿道から声援を送る住民の笑顔を見るたびにそう感じた。

みんなでやるから楽しめる

山車一行は、約3時間かけて地区をぐるっと一周し、大井川鐵道千頭駅前に姿を現した。人波であふれた駅前広場は、盛大な輪踊りや太鼓などのパフォーマンス会場へと一変した。

「一体どれだけ練習したんだろう」と観客がため息を漏らすほど息の合った踊りが続く。練り歩いた疲れなんか感じさせない笑顔あふれる人の輪は、さらに広く、大きくなっていった。

「この近辺で、これほど大規模な仮装行列は珍しいと思うよ。われわれはね、4年に一度、この日のために何カ月もかけて山車を造り、集まって踊りを練習して、当日を迎えるんだ。みんながワイワイやるのが楽しいのさ。この祭りはそういう祭りなんだ」と話しかけてきた男性の言葉に納得した。

4年に一度、千頭がはじける

「サアサア、祭りの始まりだあ」秋晴れの10月23日正午。勇ましいかけ声が上空に響く。住民の心をつなぐ祭りの幕開けだ。千頭・敬満大井神社祭典は、4年に一度開かれる。毎回、趣向を凝らした山車が地区を練り歩き、観客を巻き込む輪踊りが大変なにぎわいを見せる。文字通り、住民総出の盛大な祭りだ。本川根小学校前に集結した巨大な山車たちが、先導車に続いて進み始めた。どの山車も、地区住民がアイデアを持ち寄り、材料を調達し、何カ月もかけて造り上げた力作ばかり。迫力



### 元気をもらいました

千頭のお祭りには初めて来ましたが、「この人たちは、これが当たり前なのか」って思うくらい、みんなパワーがありました。長い時間をかけて、練習や準備をしてきたんだろうなあ。1日いるだけで、こっちも元気をもらった気がします。みんなで創り上げている雰囲気伝わってきて、すごく楽しかったです。



緑のふるさと協力隊員 高瀬美智子さん

千頭駅前で笑顔いっぱい輪踊りを披露する女性たち。この日の千頭地区では、いたるところでこんな笑顔があふれていた。

# みんなが笑顔、みんなが笑顔、みんなが主役

人々の熱気が伝わってくる。やっぱり祭りは地域力。